

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月20日

事業所名 P.P.P.プラットフォーム！児島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		本館が使用出来る日は、広い空間を提供。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		子どもさんの状況により、配慮出来る。	1階のフロアは段差がないが、活動状況によって2階への移動が必要な状況がある。車椅子移動は困難。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		終礼・会議を実施しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		会議等で話し合い、改善方法を取り入れています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		玄関掲示、法人HPで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は実施出来ていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			小学生にとってどんなアセスメントツールを用いるのが良いのか、考えていきたいと思っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		会議で事前に話し合いをしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎週違う集団活動を計画している。	運動、グループ活動、製作、裁縫、クッキング、地域交流など幅広く計画していきたいと思っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		学校休業日の土曜日開所になる為、特に活動の流れは変えていませんが、夏や冬の長期休みはイベントを取り入れる様にしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			集団活動の内容よりも、個別活動の項目が多くなりがちなので、集い等の時間を活用して計画を考えていきたいです。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		事前に活動の流れや役割分担を作成し、把握している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼・引継ぎノートを使用している。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			職員全体でモニタリングを行い、支援計画に反映する仕組みを作っていきたいです。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		担当職員が参加出来るように日程調整をしている。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		電話連絡、おたよりを配布して活動内容をお知らせしている。	学校休業日の土曜日に開所しており、学校との連携は少ない。学校と情報共有出来るように考えていきたいです。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	／	／		該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援の担当者から情報を得ている。	事前に担当者会議を開催してもらう等、情報を共有していきたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		状況表を作成し、保護者経由で次の関係機関へ情報提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		基本的には小学校に在籍している子が多いですが、さまざまな人と関わる機会を設けていきたいです。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		案内があれば、参加するようにしています。責任者が参加している為、内容を職員間で共有していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や受け入れ・送り出しの時にやっている。	
保護者	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		プログラムとしては実施出来ていません。研修には積極的に参加しています。今後実施を検討中です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行い、閲覧可能なファイルを設置している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		懇談や電話、連絡帳で実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		かがやき手帳を書く会を継続的に実施し、保護者同士が関われる機会を提供していきたいです。また、講座等で必要な情報を得る機会を計画していきたいです。

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		年4回おたよりを発行している。	活動内容の報告だけでなく、保護者参加型のおたよりをしていきたいと思っています。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		毎年「ふれあいフェア」を実施していますが、コロナ渦で実施出来ていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		契約時に説明しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間活動計画に取り入れ、おたよりで活動報告している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎月人権会議の実施とチェック表を記入している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		法人でガイドラインがあります。	ケンカなどで怪我をする恐れがある場合、止めに入る事があります。契約時に保護者には話をしています。身体拘束をしないといけな対象者はいない為、計画書の記載や同意書は交わしていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		プロフィールに記載欄があります。	医師の指示書がある方は、提出をお願いしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			